

4 研究の仮説と視点

(1) 研究の仮説

<仮説 1>

国語科の授業において、読みの目的を明確にした授業展開や基礎的基本的事項を身につけさせる指導法の工夫を行えば、子どもたちの確かな読みの力を伸ばすことができるのではないか。

[研究の視点]

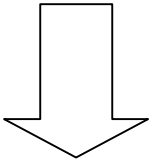
- 国語科における基本的な指導過程を設定する。
- 確かな読みの力を高めるための指導法の工夫と改善を行う。
- 学習を意欲的に進めるための学習過程での評価の工夫をする。

<仮説 2>

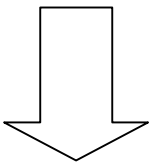
子ども一人一人に実態に応じた適切な言語能力や表現の方法を身につけさせるならば「思い」や「考え」を豊かに表現することができるのではないか。

[研究の視点]

- 適切に表現する力を高めるために、「話す・聞く」・「読む」・「書く」の活動を関連づけていく。
- 思考力や想像力を養うための場の設定を工夫する。
- 言語環境を整備する。



各自実践



研究の成果と次年度への課題